

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 1 日

事業名称		コミュニティバス等運行事業費[コミュニティ交通運行事業（導入事務）]							
予算科目	款 8	土木費	項 3	都市計画費	目 1	都市計画総務費	事業番号	6	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	道路交通（都市計画）課			交通対策（計画調整）係		課長名	一ツ木 正美		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	4 - 4		
【施策名】 道路・交通の整備						総合計画書（ページ）	89		
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）				
	地域内に公共交通空白地域を抱えており、かつ、コミュニティ交通の導入の機運がある地域 →				地域数				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）				
地域住民及び運行事業者と協働で地域に相応しい持続可能なコミュニティ交通（コミュニティタクシー）を導入する。 →				新たに試行運行を実施した地域数					
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）					
地域検討組織及び運行事業者と協議を行う。交通管理者、道路管理者、関東運輸局等と調整を進める。 →				地域検討組織との協議回数（2地域；湖畔地域と芋窪地域の合計）					
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標	
	対象指標	①の数値	地域	2	2	2			
	成果指標	②の数値	地域	1	0	0			
	目 標	②の目標値	地域	1	1	—	1	—	
		目標値設定の考え方 令和4年度に芋窪地域の試行運行実施を目指す。							
	活動指標	③の数値	回	38	8	8			
3 経費	事業費（実績）		円	5,061,501	3,148,095	85,620	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）		
	財源	一般財源	円	2,552,501	2,163,095	85,620			
		特定財源（国・都・他）	円	2,509,000	985,000	0			
		（うち受益者負担）	円	0	0	0			
	人件費（目安）	所要人数（再任用以外）	人	1.5	1.5	1.5			
		所要人数（再任用）	人	0.0	0.0	0.0			
		職員人件費（再任用以外）	円	12,465,000	12,570,000	12,375,000			
	職員人件費（再任用）	円	0	0	0				
事業費＋人件費		円	17,526,501	15,718,095	12,460,620				
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成27年度						
	(2) 環境の変化 ・H31年度からR2年度にかけて湖畔地域において試行運行を実施したが、本格運行への移行はできなかった。 ・R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により公共交通機関の利用者数が大きく減少した。R3年度は回復が見られたが、感染症の影響が生じる以前の状態には戻っていない。 ・令和4年度組織改正に伴い、本事務は道路交通課が所管する。								

事業名称	コミュニティバス等運行事業費[コミュニティ交通運行事業(導入事務)]			
担当部署・課長名	道路交通(都市計画)	課	交通対策(計画調整)	係 課長名 一ツ木 正美

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし。			
	6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)		
<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ		取組手法：⑧その他(地域検討組織と計画段階から協議を行っている。)		
	<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、地域検討組織との連絡調整にあたっては、持ち回りや資料送付等によりできる限り集合形式の打ち合わせを減らす工夫を行った。			
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容(「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) ・新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しつつ、芋窪地域の試行運行の時期を検討・調整する必要がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を考慮のうえ、令和4年度に試行運行を実施することとし、東大和市地域公共交通会議の協議を調えた。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ・コロナ渦でも実施可能な利用促進策を検討していく必要がある。			
8	施策貢献状況(この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名：道路・交通の整備 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 ・令和4年度の芋窪地域での試行運行の実施に向け、地域検討組織と協働で利用促進策等の検討を進めていく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・持続可能な公共交通となるよう、コロナ渦でも実施可能な利用促進策を検討実施していく。			